

【例題6】問題

平成18年3月31日における北日本商店(決算 年1回 3月31日)の決算
理前残高試算表は、次のとおりであった。この決算整理前残高試算表
決算整理事項によって、損益計算書と貸借対照表を作成しなさい。

決算整理前残高試算表

平成18年3月31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
195,000	現 金	
543,000	当 座 預 金	
840,000	売 掛 金	
359,000	売 買 目 的 有 価 証 券	
223,000	繰 越 商 品	
500,000	備 品	
	備 品 減 価 償 却 累 計 額	90,000
	買 掛 金	326,500
	借 入 金	360,000
	貸 倒 引 当 金	10,000
	資 本 金	1,500,000
	売 上	1,800,000
1,033,000	仕 入	
279,000	給 料	
52,000	支 払 家 賃	
35,300	消 耗 品 費	
9,000	支 払 保 険 料	
4,700	雑 費	
13,500	支 払 利 息	
4,086,500		4,086,500

決算整理事項

- (1) 売買目的有価証券は当期に購入したもので、期末の時価は¥365,000であった。
- (2) 期末商品棚卸高は¥212,000であった。
- (3) 売掛金の残高に対して、2%の貸倒引当金を設定する。
- (4) 備品は定額法で減価償却を行っている。(間接法 残存価額10% 耐用年数10年)
- (5) 支払家賃は平成16年4月分から毎月一定の金額を前月末までに支払っている。
- (6) 消耗品の未消費高¥9,300を計上する。
- (7) 支払利息は平成16年7月1日に借り入れた借入金に対するもので、利率は年5%、利払日は年2回、6月30日と12月31日である。決算にあたり利息の未払分を計上する。

【例題6】答案用紙

貸借対照表
平成18年 3月31日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現金	()	買掛金	()
当座預金	()	借入金	()
売掛金	()	未払利息	()
貸倒引当金	()	資本	()
有価証券	()	当期純利益	()
商備	()		
減価償却累計額	()		
前払家賃	()		
消耗品	()		
	()		()

損益計算書
平成17年 4月 1日から平成18年 3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価	()	売上高	()
給仕料	()	有価証券評価益	()
支払家賃	()		
消耗品費	()		
貸倒引当金繰入	()		
減価償却費	()		
支払保険料	()		
雑費	()		
支払利息	()		
当期純利益	()		()
	()		()

【例題6】解答

貸借対照表
平成18年 3月31日

資 産	金 額	負債および資本	金 額
現金	195,000	買掛金	286,000
当座預金	543,000	借入金	360,000
売掛金	840,000	未払利息	45,000
貸倒引当金	16,800	資本金	1,500,000
有価証券	365,000	当期純利益	325,500
商備品	212,000		
備品	500,000		
減価償却累計額	135,000		
前払家賃	4,000		
消耗品	9,300		
	2,516,500		2,516,500

損益計算書

平成17年 4月 1日から平成18年 3月31日まで

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価	1,044,000	売上高	1,800,000
給料	279,000	有価証券評価益	6,000
支払家賃	48,000		
消耗品費	26,000		
貸倒引当金繰入	6,800		
減価償却費	45,000		
支払保険料	9,000		
雑費	4,700		
支払利息	18,000		
当期純利益	325,500		
	1,806,000		1,806,000

有価証券の貸借対照表価額は期末の時価になり、差額が有価証券評価益です。

決算整理前残高試算表の「仕入」の金額は当期商品仕入高をあらわします。

売上原価の金額 = 223,000 + 1,033,000 - 212,000 = 1,044,000

また、商品の貸借対照表価額は期末商品棚卸高です。

貸借対照表の貸倒引当金と損益計算書の貸倒引当金繰入の金額は次の計算で求めます。

貸倒引当金 = 840,000 × 2% = 16,800

貸倒引当金繰入 = 16,800 - 10,000 = 6,800

貸借対照表の減価償却累計額と損益計算書の減価償却費の金額は次の計算で求めます。

減価償却費 = 500,000 × 90% ÷ 10 = 45,000

減価償却累計額 = 90,000 + 45,000 = 135,000

決算整理前残高試算表の「支払家賃」の金額は「1年分 + 前払の1ヶ月分 = 13ヶ月分」となっています。

したがって、損益計算書の支払家賃と貸借対照表の前払家賃の金額は次のようになります。

1か月分の支払家賃 = 52,000 ÷ 13 = 4,000

前払家賃 = 4,000 × 1 = 4,000

支払家賃 = 4,000 × 12 = 48,000 (または 52,000 - 4,000 = 48,000)

期末に未消費の消耗品は貸借対照表に消耗品として表示します。その金額分だけ損益計算書に書く消耗品費が少なくなります。

決算整理前残高試算表の「未払利息」の金額は「1年分 - 未払の3ヶ月分 = 9ヶ月分」となっています。

したがって、損益計算書の支払利息と貸借対照表の未払利息の金額は次のようになります。

1か月分の支払利息 = 13,500 ÷ 9 = 1,500

未払利息 = 1,500 × 3 = 4,500

支払家賃 = 1,500 × 12 = 18,000 (または 13,500 + 4,500 = 18,000)

【例題6】決算整理仕訳

(1)	(借) 売買目的有価証券	6,000	(貸) 有価証券評価益	6,000
(2)	(借) 仕入	223,000	(貸) 繰越商品	223,000
	(借) 繰越商品	212,000	(貸) 仕入	212,000
(3)	(借) 貸倒引当金繰入	6,800	(貸) 貸倒引当金	6,800
(4)	(借) 減価償却費	45,000	(貸) 備品減価償却累計額	45,000
(5)	(借) 前払家賃	4,000	(貸) 支払家賃	4,000
(6)	(借) 消耗品	9,300	(貸) 消耗品費	9,300
(7)	(借) 支払利息	13,500	(貸) 未払利息	13,500